

授業科目名	日本語教育演習 I	単位数	1単位
担当教員名	中野二郎	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) 授業のデザイン、練習方法など実際に授業を行うための具体的な手法を学び、教育実習に臨む準備を整える。 (2) 音声言語の特徴を知り、技能別(会話、聴解、発音)に教授の際に必要な技術や考え方を共有する。 (3) 日本語教育における初級と中上級の違いを概観し、授業を実施する際の留意点を知る。 (4) 教育実習に向けて、初級文型の導入・練習の方法を知るだけでなく、実践して各自学びを得る。			
授業の概要			
「日本語教授法」で学んだ知識に基づき、授業を実施するための手法を学ぶ。初級は勿論、中級以上の音声言語に関わる科目で学習者のレベル、ニーズ、サイズ等の条件を想定して授業デザインを行う。教師からの示唆もあるが、受講者自身の考察や気づきなどを重視して授業を進める。教育実習に向けて、ドリルやFBも実際にやってみる。 関連科目:「日本語教授法」の履修、学修後の「日本語教育実習」の履修を前提とする。			
授業計画			
スクーリングでの学修内容			
(1日目) ガイダンス(この授業の目的と心構えを確認) 第1回 アイスブレイキング1 「音声言語」と「文字言語」の違いについてグループで話して発表。 第2回 用語の整理:この授業で用いるキーワードについて、理解を深める。 日本語教師の務め、資質や能力とは何か、目的・対象別日本語教育法、異文化コミュニケーション、異文化理解能力 第3回「会話を教える」解説&タスク① 談話理解、受容・理解能力 第4回「会話を教える」解説&タスク② 談話理解、受容・理解能力 第5回「各種練習の指導」解説&タスク① 音韻・音声 第6回「各種練習の指導」解説&タスク② 学習ストラテジー 第7回 授業デザイン1『みんなの日本語 初級1』某課で実践練習① 日本語教育プログラムの理解と実践、授業計画 第8回 授業デザイン1『みんなの日本語 初級1』某課で実践練習② ※グループワークで反復練習、代入練習、変換練習、FBも実践する。 日本語教授法、教材分析、教材開発			
(2日目) 1日目の実践に対するフィードバック 第9回 「中級レベルの教育」解説&タスク① 日本語教育におけるICT活用 第10回「中級レベルの教育」解説&タスク② 著作権について 第11回 「コミュニケーション能力を育てる指導」解説&タスク① 言語学習、言語運用能力、コミュニケーションストラテジー、コミュニケーション教育 第12回 「コミュニケーション能力を育てる指導」解説&タスク② 対人関係能力 第13回 授業デザインⅡ 『みんなの日本語 初級1』某課で実践練習① 教室・言語環境の設定 第14回 授業デザインⅡ 『みんなの日本語 初級1』某課で実践練習② 評価法、授業分析・自己点検能力 第15回 2日間のふりかえり グループで話した後成果を全体で共有 社会文化能力 ※両日ともアクティブラーニングの手法を用いて実施			
スクーリングでの学修			
ドリルの練習、話し合い等はできる限り、グループワーク等アクティブ・ラーニングの手法を用いて実践を行うので、積極的な取り組みを期待する。			
テキスト			
(1) 『新・はじめての日本語教育2 増補改訂版』アスク出版 (2) 『みんなの日本語初級1 本冊 第2版』スリーエーネットワーク			
参考書・参考資料等			
(2010) 『みんなの日本語初級I 教え方の手引き』スリーエーネットワーク 978-4-88319-160-4 (2016) 『みんなの日本語初級I 翻訳・文法解説 英語版』スリーエーネットワーク 978-4-88319-604-3 (2016) 『みんなの日本語初級I 書いて覚える文型練習帳』スリーエーネットワーク 978-4-88319-607-4			
学生に対する評価			
スクーリング評価(50%)、科目修得試験(50%)			